

## 2016 年度第 66 回 日本学連総会 議事録

開催日時：2017 年(平成 29 年)3 月 20 日(月曜日) 9:00~11:00

開催会場：琵琶湖国定公園 近江白浜 政府登録旅館 白浜荘

議事録作成者：坂野 翔哉 (東京理科大学)

### 議題

1. 議長選出 .....	4
2. 全日本大会について .....	4
3. インカレスプリント会計について .....	6
4. 会計中間報告 .....	7
5. インカレリレーの特例措置について .....	7
6. メーリングリストについて .....	8
7. 加盟校形態について .....	9
8. 理事会報告 .....	9
9. 地図会計報告 .....	9
10. 次期幹事承認 .....	10
11. 各部局活動報告 .....	10
12. 地区学連活動報告 .....	11
13. 次回総会について .....	12

## 出席者(敬称略)

氏名	役職	学校名
山川 克則	副会長	東京大学卒
木村 佳司	理事	山口大学卒
小泉 知貴	幹事長	慶應義塾大学
石山 良太	副幹事長	名古屋大学
成澤 春菜	会計/次期副幹事長	フェリス女学院大学
竹内 公一	次期会計	名古屋大学
築地 孝和	事業部長	神戸大学
矢野 峻平	次期事業部長	大阪大学
坂野 翔哉	広報部長	東京理科大学
吉澤 佳奈	事務局長	日本女子大学
細 正隆	普及部長	東北大学
臼井 沙耶香	次期普及部長	東北大学
堀江 優貴	渉外部長	東北大学
田口 茂樹	会計監査	岩手大学
田中 基成	会計監査	筑波大学
佐藤 遼平	次期会計監査	東京大学
塩平 真土	次期会計監査	北海道大学
丸山 真輝	次期北東学連幹事長	東北大学
高田 和樹	北信越学連幹事長	新潟大学
小山 友綺	次期北信越学連幹事長	金沢大学
瀬川 出	関東学連幹事長/次期幹事長	東京大学
上野 康平	次期関東学連幹事長	東京工業大学
横田 智也	東海学連幹事長	名古屋大学
西嶋 就平	次期東海学連幹事長	名古屋大学
中村 哲	関西学連幹事長	京都大学
遠藤 匠真	次期関西学連幹事長	大阪大学
下江 裕貴	中四国九州学連幹事長	広島大学
山本 徳高	次期中四国九州学連幹事長	岡山大学

#### 出席校(25)

北海道、岩手県立、東北、宮城学院女子、金沢工業、新潟、横浜国立、実践女子、十文字学園女子、東京理科、筑波、千葉、横浜市立、フェリス女学院、一橋、早稲田、東京、慶應義塾、静岡、名古屋、椙山女学園、京都、大阪、京都女子、奈良女子

#### 委任状(9)

岩手、福島、金沢、東京農工、相模女子、津田塾、関東学院、茨城、日本女子

#### 準加盟校の出席校(2)

神戸、広島

#### 欠席(2)

東京工業、電気通信

## 1. 議長選出

発言内容(敬称略)	
小泉	2016 年度第 65 回 日本学連総会を始める。出席大学数は規定を満たす。議長選出を行うが立候補はあるか。
柴沼	早稲田大学の柴沼です。
小泉	早稲田大学の柴沼氏が議長を務めることを承認する方は拍手をお願いしたい。では議長を承認する。

## 2. 全日本大会について

概要 経緯と承認。	
発言内容(敬称略)	
小泉	<p>議論の意義について、日本のオリエンテーリングの総本山に学生及び学生 OB が参加しない、JOA が疲弊している。</p> <p>全日本が沈むとインカレ沈む、インカレは学生の力だけでなく、地元クラブや県協会の協力が大きく、全日本が潰れると JOA は沈み、県協会も機能しない。</p> <p>全日本は全クラスがしっかりコントロールされている大会であり、オリエンテーリングの楽しみを普及させるために重要。</p> <p>決議内容の運用は山川さんのプロデューサー就任期間である 2018 年度までの区切りでこれまでの会議を行っている。</p> <p>これから決議が必要な内容を述べる。</p>
小泉	<p><b>【具体的内容】</b> ☆今回の改革の趣旨は、全日本大会を立て直すための経過措置である。</p> <p>○相互交流(常設型)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本 21E 権保有者は、インカレの地区学連セレクションを免除し、全日本 21E クラスを心置きなく走れるようにする。この適用は 2018 年度からである。</li> <li>・セレクション免除者は現状与えられているインカレ選手権の 60 : 30 とは別枠での出走とする。ただし、選手権の価値や運営負担の観点から、免除者の数が 5 人を超えるようなことになればこの改革案の見直しを行う。</li> <li>・インカレで好成績を残した者は、全日本 21E 権や公認 21E 権をとることが可能になる。</li> <li>・インカレ (ロング) M/WE クラス上位 6 位以内の選手に、当該年度全日本大会の W/M21E 権を付与する。</li> <li>・インカレロング ME クラス 15 位、WE クラス 10 位以内の選手に当該年度お</li> </ul>

	<p>よび翌年度公認大会（全日本大会を除く）の M/W21E 権を付与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インカレ（ミドル）M/WE クラス上位 6 位以内の選手に、当該年度および翌年度公認大会（全日本大会を除く）の M/W21E 権を付与する。</li> </ul> <p>※JOA からの承認をいただくことができました。</p> <p>○セレクション併設(選択型)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本大会において地区学連セレクションを併設して行うことができる。日本学連幹事会が全日本大会の開催地から判断して地区学連を指定し、その地区学連総会にて承認がとられた場合、セレクションを併設する。</li> </ul> <p>※2017 年度全日本大会では北東学連から承認を得ている。</p> <p>※指定された学連以外もできる限り積極的にセレクション利用についての議論をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本大会の開催時期はプロデューサーが設定する。ただし、プロデューサーは学生側から開催時期の希望を受け入れる。</li> <li>・全日本大会の中心的な運営はプロデューサーが行い、一部の運営負担をセレクション開催の地区学連の OB が担う。</li> <li>・トレインコントロールは 1 年以上前から行うが、インカレトレインとの関係性は考慮しない。開催地が決定次第、プロデューサーは早い段階で日本学連幹事会に連絡をする。</li> <li>・併設の場合のセレクションは、専用のクラスを設ける。出走人数が多くなる場合は地区ごとの分割を行う。</li> <li>・セレクションを行う地区学連の全日本 20E(ジュニア選手権)クラスに参加する資格を持つ者は、セレクションと全日本 20E クラスのいずれかを選択して出走する。</li> </ul> <p>※一部全日本 20E 権保有者が 20E クラスに出場しない選択をとる可能性があるため、「真のジュニア選手権」という観点からは無理が生じるが、経過措置として許される範囲内のものである、と日本学連幹事会は判断した(現状でも全日本 20E 権保有者全員が出走しているわけではない)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加費は現状の学生地区学連セレクション並みにとどめる。</li> </ul>
木村	現状全日本大会の参加者数は 600 人程度、インカレよりも広いトレインを用意していることもあって採算は取れていない。
小泉	山川さんの目標は 900 人である。これの達成のためには現役学生から OB への連絡と参加促進が重要なので、それも加盟校の皆さんにお願いしたい。
山川	インカレは 35 年くらい続いている。これは学生や OB、みんなの熱意でこれだけ続いた大会。しかし全日本は無理して続けてきた大会でもう今後は開催できないかもしれないくらい疲弊していた。私はインカレの維持のために身を投げ打っ

	<p>てきたが、全日本大会が疲弊してしまえば JOA の疲弊と都道府県協会の消滅に繋がり、地元と密接に関係できる人材の不足によってインカレも開催できなくなってくる。</p> <p>また、全日本大会を開催することによって純粋にオリエンテーリングの楽しみを普及する重要性をわかってほしい。インカレが長い時間を掛けて学生自治をし、とても盛り上がり、継続性を獲得したように、全日本大会も学生の参加によって再興してもらいたい。私のオリエンテーリング人生の最後に、オリエンテーリングの面白さを提供したい。全年齢層の、たくさんの人に出て欲しい。</p>
木村	<p>オリエンテーリングは老若男女、全ての年齢層が参加できる稀有なスポーツである。今後の全日本大会では質の高い地図とコース、楽しいオリエンテーリングを提供する。その質の高さを学生も選考会に利用してもらえたらと思う。ロング競技はトレインやコースが難しく、開催のための資源が足りない。その少ない資源を学生と奪い合うよりも、協調できたらと思う。</p>
柴沼	<p>全日本大会では地区学連の承認によってセレクションを併設、全日本大会 M21E 出場権を持つ人はセレクション免除の制度について承認する方は挙手をお願いします。</p>
	<p>全会一致(25)で承認</p>
小泉	<p>承認によって、2017,2018 年の全日本大会では地区学連の承認によってセレクションを併設できることになる。2017 年は北東学連のみ共催。2018 年度 M21E 出場権を持つ人はセレクション免除の制度もある。</p> <p>2018 年度以降は今度の大会など様子を見ながら幹事会などで議論していく。</p>

### 3. インカレスプリント会計について

<p>概要</p> <p>現状のままだと毎回大きな赤字となる。理由は渉外の難しさやトレインの少なさ、運営負担など。参加費の値上げ、一般参加者を増やす、日本学連が補填などの対策は不可欠。</p> <p>前回の大会は実質的には OBOG による実行委員会形式だったが会計負担は山川さんであって学連の負担にはなっていないもののこのままでは持続できない。大会継続のためには決断が必要である。</p>	
<p>発言内容(敬称略)</p>	
小泉	<p>アンケート結果では選手権は 1500 円の値上げ、一般でも 500~1000 も値上げも可能という結果ではあった。しかしこれを実行してもまだ赤字はあるだろうし、参加者が減っては意味が無いので他にも策が必要。インカレスプリントはまだ始</p>

	まったばかりだが今後も続けていく方向で対策を考えていきたい。
木下	昨年度秋インカレでスプリントに参加せずロングのみの参加者は何人だったか。
山川	ロング参加者が約 850 人、スプリントは約 480 人。よってロングのみは約 300 人。学校ごと来なかったところもある。モデルイベントがなかったことも不参加の要因であったと思う。

#### 4. 会計中間報告

発言内容(敬称略)	
成澤	<p>収入について、加盟金の返金作業に伴い記載の額は変更される 賛助金は現在記載していない。</p> <p>部局費は申請がなく未記入 技術委員会学連合宿は開催されていないので 0 となっている。 活動報告書は内容が多かったため増額している。</p> <p>幹事会交通費宿泊費は臨時幹事会の開催のために大幅に増額した。 ファミテックからの寄付金約 10 万円も現在は未記入となっている。 疑問点はないか。</p>
成澤	<p>来年度予算案について 今年度インカレミドルリレーを踏まえて収入を 90 万から 50 万に減額 支出部局活動費は現状維持。</p> <p>活動報告書積立は維持して様子見とする。 幹事会交通費は据え置き。資料印刷代 5 万円は現在使わないので幹事会宿泊費に 充てる。全体的にはインカレミドルリレー減額に伴い赤字となる可能性がある。</p>

#### 5. インカレリレーの特例措置について

概要	
<p>選手が揃わずリレーに出られない学校にも、機会提供と普及発展のために選手権に出られる制度。幹事会から実行委員会へお願いして、しばらく特例として適用している。</p> <p>リレーは大学対抗の選手権大会なのにそうでないチームを際限なく認めていけばインカレリレーの意義が薄れてしまう。</p>	
発言内容(敬称略)	
小泉	意見はあるか。
十文字	特例措置はいらない。例外を認めるのは大学一を決めるのにふさわしくない。

慶應	特例措置は必要。少人数校も選手権レベルの競技環境の提供によって競技レベルの底上げになる。規約化については折衷案である、特別表彰認めない案に賛成。表彰を認めないことで、今後表彰台に上げられるチームづくりを促す意味。3人以上のエントリーをしている大学の出場は認めない。
横国	特例措置は必要。少人数校もリレーに出て欲しいと思う。特別表彰は認めない。3人以上のエントリーで不可。
小泉	幹事会としての意見は、特別措置は必要だがインカレに3人エントリーで不可。3人以上でも少人数校はUクラスに出るなどきちんと実力を判断して、下級生に出場強制してほしくない。規約化は慎重にやりたいのでこの特例措置は今後ガイドラインとしての制定を検討中。実行委員会や理事とも相談しながら来年度作成する。

## 6. メーリングリストについて

概要	
日本学連涉外との連絡に使用されているメーリングリストは <b>orienteering.com</b> サーバーを使用しているが、来年度より無料サービスである <b>free ML</b> への移行を報告した。	
発言内容(敬称略)	
小泉	現在加盟校メーリングリストで@ <b>orienteering.com</b> を用いているが、添付ファイルの上限があるなど不都合があります。また、多くのオリエンテーリング団体が同じサーバーを使っているということで、サーバーが機能しなくなってしまったときの影響は非常に大きいです。その為移行を検討しています。
坂野	移行は来年度涉外の皆さんを登録する際に行うことになると思う。ただ、これまでの <b>ML</b> には過去の涉外や幹事などかなり多くの参加者がいる。それへも周知を。基本的に移行後も過去の方々や希望者など登録していく。
木村	大規模修繕を考えている。外に出せる機能なるべくは出して軽くしていきたい。
坂野	新 <b>ML</b> も誰でも入れていく方針、部内で引き継ぎ周知を。



## 7. 加盟校形態について

概要	
加盟校の大前提は大学を代表するクラブなのかという基準を作りたい。何が大学を代表するに値する基準となりうるか、他の組織を参考に考えていく。	
発言内容(敬称略)	
小泉	<p>視点が現在の加盟校視点になっている。人数が5じゃなくて10がいいなど意見が大規模校寄りとなっている。加盟校基準決めるのは、加盟校ではなく、日本学連に権限があるという理事の意見を取り入れて再議論中。加盟校基準の変更は最高意思決定機関の改変であり慎重を要する。</p> <p>日本学連は日本の学生のオリエンテーリング活動を統括する。総会は最高意思決定機関。総会の投票券を持つのが組織の加盟員。加盟員は加盟校の内部であり、重要な意思決定者ではない。1票の格差なども是正に向けて議論してきたが、国連であっても大国も小国も1票。</p> <p>加盟校の大前提は大学を代表するクラブなのかという基準を作りたい。何が大学を代表するに値する基準となりうるか、他のスポーツ等の連盟組織を参考に考えていく。もし基準を人数とするのならば、リレーに出場可能な3人以外にない。</p>
小泉	来年度の議論にご協力ください。

## 8. 理事会報告

木村	<p>インカレ旗引き継ぎで御存知の通り、ICMR 実行委員会と実行委員長柳川梓さん、アドバイザーを池田純哉さん、栃木県での開催を承認した。</p> <p>インカレのトレインコントロールのために長野県「駒ヶ根高原」をクローズ、具体的文書はまだないが、今後の合宿や練習会利用等は認めない。</p> <p>学生選手権大会の年齢制限を「29歳未満」から「25歳」以下へ提案する。根拠は29歳の根拠であった世界学生スポーツ連盟(FISU)の年齢制限が変更されたものに追従する。周りでは特に反対意見もなく、適用は2018年のユニバーシアードからとしたい。</p>
----	---

## 9. 地図会計報告

山川	練習会が活発になって学連の地図収入が増えている。新機軸事業が今年度はなかったが、これの会計負担も相殺される程度の収入になっている。
----	---

## 10. 次期幹事承認

小泉	今年度 3/31 を以って現幹事は退任し、次期幹事に引き継ぐ。自己紹介のあと、承認を行う。
瀬川	幹事長。東京大学 3 年。現在関東学連幹事長。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
成澤	副幹事長。フェリス女学院大学 3 年。現在日本学連会計。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
竹内	会計。名古屋大学 2 年。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
矢野	事業長。大阪大学 3 年。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
坂野	広報長。東京理科大学 3 年。現広報で留任。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
臼井	普及長。東北大学 2、細さんのように観戦ガイドでインカレ盛り上げる
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
堀江	渉外長。東北大学 3。現渉外で留任。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
吉澤	事務局長。日本女子大学 3 年。現事務局で留任。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
佐藤	会計監査。東京大学 2 年。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。
塩平	会計監査。北海道大学 2 年。
柴沼	承認されるかたは拍手。承認。

## 11. 各部局活動報告

成澤	中間決算と、来年度予算案を作成した。加盟金の確認作業を行っている。活動報告書などの振込も行った。賛助会員への返信や決算作成を行う。
築地	事業部では、1 月 28 日に水戸市で行われた第 3 回幹事会の会場と宿泊の予約、本日の会議場を確保した。2017 年 3 月 17 日に滋賀県で行われるインカレミドルリレー開会式担当校を大阪大学・奈良女子大学・神戸大学の 3 校にお願いして決定した。2/4 下見した。開会式後夜祭講習会運営。
坂野	広報部では、第 1 回幹事会議事録、第 2 回幹事会議事録を公開しました。臨時幹事会議事録を作成中です。いぶき第 1 号を発行しました。

吉澤	事務局では第 39 回東大 OLK 大会を承認。渉外報告書は第 38 回 OLK、第 21 回京大京女第 10 回岩県大会を受け取りました。報告書は HP にフォーマットもあるので、大会終了後 1~2 ヶ月を目安に提出して欲しい。
細	普及部では賛助会員呼びかけと、インカレ観戦ガイドを作成した。近々観戦ガイドに関するアンケートを実施したい。
堀江	山川氏と矢板市、日光市、塩谷町のテレインに関して挨拶と回覧を送付した。 5/13 の東工大の利用まで受付。

## 12. 地区学連活動報告

小泉	担当者である渥美の欠席により代読します。12月18日に関東学連と合同でミドルセレと同時に第3回総会。 3/17で第4回総会、役員引き継ぎ、北極星4号の発行を行った。 6月全日本大会にて北東学連ロングセレを行う。
高田	北信越学連は12月4日に関西学連を利用しミドルセレ、本日このあと総会と引き継ぎを行う。
瀬川	関東学連は第3回第4回総会を行った。2月5日に関東インカレ団体戦をヤマリハで行った。今後7月2日にロングセレ兼関東インカレを静岡県鳥追窪にて開催。7月23日にスプリントセレ開催の予定。
中村	関西学連は12月4日にミドルセレを開催した。これは北信越・中九四も併催だった。同日に第4回総会。2月12日に第5回総会、26日に臨時総会を行った。4月23日に学連新歓と第1回総会、6月25日にミドルセレ、7月16日にスプリントセレ開催の予定。
横田	東海学連は12月11日にミドルセレ、12月17-18日に冬合宿と総会を行った。3月27日に総会と引き継ぎ、7月9日に東海インカレを開催する。
下江	中九四学連は12月4日に関西学連ミドルセレを利用したセレクション、1月9日に第2回の学連練習会を行った。今後は各種セレ実施規約が存在しないため新規に作成していく。 また、連盟規約の改正案を作成した。17年ぶりとなるが、この場で承認の決議をいただきたい。
下江	改正箇所について、31条会計監査は詳細に仕事を書いた。37条会計監査を幹事とした。40条幹事会について記載した。7,8,9章の賛助や後援については諮問委員を新設することで役割をまとめた。58条規約改正については基準を明確にした。11章は新設した。その他名称の変更や統一を図った。
柴沼	中九四学連連盟規約の改正に承認される方は挙手をお願いします。

	24 票で改正は承認されました。
--	------------------

### 13. 次回総会について

築地	次回総会は例年通り、インカレ後夜祭の翌日、11 月 18 日のスプリント会場にて大会後に場所を確保した。
木村	新歓シーズンですが、加盟員獲得のためにがんばってください。支援のチラシ作成を受け付けます。